

23年度第一学期終業式 あいさつ

なでしこジャパンの見事な活躍に、多くの方が胸を躍らせています。先発も控えの投手も一丸となり、序盤の猛攻は冷静にしのご、パスをつなぎ、取られても取られても取り返し、そして勝ち取った世界一は、今の日本を象徴するかのようです。

自然は、日本に住む私たちにとつてもない試練を与え、その試練は今も続いています。その試練に直面し、日本はいま、大きく、しかも急速に変わりつつあります。

武蔵丘が、「友との絆」と、共同体、共に支え合って生きるコミュニティを大事にしようと目標に掲げたのは2年前でした。そして自分の利害を超えた「利他の志」を目標に掲げたのは、1年前でした。

しかしその頃は、こうした目標掲げる武蔵丘は、世の中全体からすると少数派でした。言葉の上では理解しても、「絆」や「コミュニティ」や「利他の志」の貴さを、その切実さを、心底、実感できていた人は多くはなかったかもしれません。ところが、今やその価値を受け止め、自分自身の生き方とする人が圧倒的な主流となりつつあるように思います。日本は間違いなく変わりつつあります。

そして、武蔵丘を取り巻く環境も大きく変化しつつあります。先日、東京にあるすべての学習塾を取りまとめている私塾協同組合の理事長さんを訪ねました。そこで理事長さんからお聞きしたのは、今年度に入って、すべての学習塾の武蔵丘への評価が完全に変わった、以前は、駅から遠いということで敬遠する人がいたが、遠くても武蔵丘に行きたいという人が増えているというお話でした。

世の中の変化と、武蔵丘への期待の高まりとは、決して無縁ではないように思います。そこで大事なことは、先を走る先駆者だったのに、自分たちの価値を見損ない、世の中が追いついてくる中で、ウサギとカメの逸話のように、追い越され、おいてけぼりをくうような人がいれない、さらに心を引き締めて自らを磨き続けようということです。

人間の最大の欲求は自己実現にあると言われる。我々は一人ひとりがバラバラでは生きられない社会的な存在です。その人間にとっての究極の自己実現こそが「利他の志」です。自分自身を磨き鍛え、世のため人のために、より役立つ人になる。それが自分自身のためであり、最高の自己実現であり、「利他の志」の精神です。

この夏を、一人ひとりが、「心」と「体」と「頭」を鍛える「特別の夏」にしてほしいと思います。学習塾を訪ねたとき、偶然、来年の受検生のお母さんと遭遇しました。そのお母さんは、何と学校見学会でも体験授業でもない普通の日に武蔵丘をこっそり見に来たと伺って、ドキッとしました。

どんな感想かお聞きしてみると、生徒たちがよく挨拶ができ、落ち着いた雰囲気のある学校で、ぜひ第一志望にしたいとおっしゃっていました。みんなのお蔭です。

でも、安心してはいけません。君たちには、どんな困難があろうと、自分自身を奮い起こして全力で立ち向かっていく、もっともっと「強い心」をもってほしいのです。シャツの裾をだらしなくだしている、一部だけゴミをポイ捨てする奴がいるなどと小言を言われぬよう自分をコントロールする「強い心」をもってほしいのです。そのために、「品格と規律ある自由」を掲げているのです。そして苦手な分野を何としても克服し、得意分野をさらに伸ばす、そのために全力で勉学に励む「強い心」を育ててほしいと思います。

明日から、夏休みの講習も始まります。夏の合宿も始まります。クラスの団結力が試される文化祭の準備も始まります。自分を鍛え、「強い心」を磨く絶好のチャンスです。幸い、講習にはほとんどの生徒が参加すると聞いてうれしい限りです。健康管理は、すべての土台です。身の安全と健康に十分気をつけながら、後で振り返ったとき、あの夏があったから、今の自分がある、自分たちがあると言える「特別の夏」を一人ひとりがつくりあげ、一回りも二回りも成長した君たちと9月に会えることを楽しみにしています。

以上。